



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任

部局名 工学部

担当: 福山敦彦・淡野公一

テーマ みやざき半導体関連産業人材育成等コンソーシアム

概要

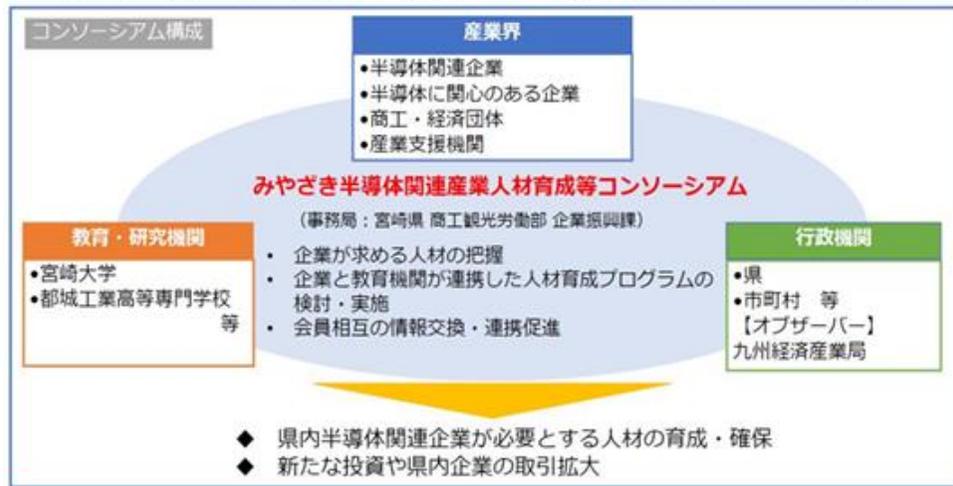
世界的な半導体企業大手のTSMCの熊本県進出を契機に、九州全体で半導体関連産業への投資が活発化しています。宮崎県でもパワー半導体企業大手のローム株式会社が国富町へ新工場を設立させるなど、半導体関連産業の進出が進んでいます。一方で、今後九州圏内で年間1,000人規模の半導体関連人材が不足すると予測されています。

そこで、県内の産学官が連携し、半導体関連産業振興の根幹となる人材の育成・確保を図りながら、企業間の取引拡大や新たな投資を呼び込むことを目的として「みやざき半導体関連産業人材育成等コンソーシアム」(初代会長:工学部・福山敦彦教授)が設立されました。令和7年3月時点で67の企業・行政機関・教育機関が参加しています。



- TSMCの熊本県進出などをきっかけとして九州全体において半導体関連産業の投資が活発化
- 県内関連企業はもとより、ローム社の国富町進出など、半導体関連産業を取り巻く環境が急速に変化

こうした動きに対応するため、人材育成・確保や半導体関連産業の振興への取組が急務



「半導体関連企業現場体感塾」をはじめとした様々な取り組み

県内の高校生が半導体を学び、関連企業を視察する「半導体関連企業現場体感塾」が開催され、宮崎工業高等学校電子情報科2年生37名が参加しました。他にも「科学の祭典」や「宮崎テクノフェア」への出展、現場の技術者が直接講義をおこなう大学院講義「半導体産業特論」を新規開講しました。これらは、産学官が協働して、ものづくり現場や最新技術を教材にした実践的な人材育成を行うことで、これからの本県の半導体産業を担う次世代人材の確保・定着を図ることを目的とした取組です。

期待できる成果・評価 など

産学官連携で人材育成に取り組んでいくことで、県内半導体関連企業が必要とする人材の育成・確保が可能となり、新たな投資や県内企業の取組が拡大できます。